

組合員さんにとつて より良い組合を目指して

取材先

大阪電気器材協同組合

専務理事

主事 中家 伸治 柏尾 嘉秀

同じ建物内に関西電線販売業協同組合と
大電材組合が入っており、事務局員同士で
日々情報交換をされています。

新たな事業を展開予定

西区阿波座（電気器材会館）に事務所を構える「大阪電気器材協同組合」は、戦後の混乱が残る大阪で設立され、電気業界の経済活動の発展をサポートしてこられました。皆さんご存知のとおり、大電材組合とは古くから深いつながりがあります。今回は、専務理事の柏尾 嘉秀氏と主事の中家 伸治氏にお話を伺ってきました。

製品の共同購入から事業をスタート

大阪電気器材協同組合は、昭和24年に大阪府下の電気器材、電気資材の販売業者が相寄つて設立した大阪府電気照明協同組合を前身とし、今年で創設73年目を迎えます。初代理事長は株式会社上田電機百貨店の上田 徳次郎氏。現理事長である株式会社美貴本の米倉 彦之氏で7代目となります。

柏尾氏は現在64歳。平成24年8月に商工中金からの出向で事務局長に就任。平成25年の総会で専務理事になられました。中家氏は現在61歳。柏尾氏と同じ平成24年に事務局の局員として入られ、現在は女性の職員を加え3人で事務局を運営されています。

柏尾氏は現在64歳。平成24年8月に商工中金からの出向で事務局長に就任。平成25年の総会で専務理事になられました。中家氏は現在61歳。柏尾氏と同じ平成24年に事務局の局員として入られ、現在は女性の職員を加え3人で事務局を運営されています。

近年は金融事業や保険代理業の他にも、職場ハラスメントの相談受付業務、ガソリンの共同購入事業、事務局委託事業などの事業を展開されています。「保険代理業は現在、主に三井住友海上、損保ジャパン、明治安田などの火災保険を取り扱っています。ハラスメント相談の受付業務は、ハラスメント相談室を社内に設置しても言いづらいという声にお応えして、あえて外部に委託したい」という会社に向けて始めました。現在は2社の相談窓口を受け持っています。ガソリンの共同購入は、まだ始めたばかりなので知らない方も多いと思いますので、ここでアピールできたらと思います。令和3年6月から始め、組合員に限り、当組合が発行する給油カードにて軽油やガソリンなどの車両燃料をお安くご利用いただけます。お得ですので、組合員の方々には、是非利用していただければと思います。また、当組合は会員制リゾートクラブのザ・グランリゾートの会員ですので、全国に21箇所あるリゾートホテルを会員価格で利用することができます。

「口ナ禍になる前は年間200人ほどが利用されていました。口ナが落ち着きましたら、こちらも是非利用していただければと思います。その他にも、組合員さんの親睦の場として、ODKゴルフコンペは年に2回行っています。昔は多い時で2ヶ月に1回ほどのペースで開催していた時もあったようで(笑)、現在225回を数える歴史あるコンペとな

っています。」今後は現在取り組んでいる事業の発展と新たな事業の構築に力を入れていくとのことです。

5代目理事長との突然の別れ

組合に来て特に印象に残っていることは、お一人が組合に来て1年もない間に5代目理事長である三原幸二氏(株式会社洋電社)が亡くなられた時のことだと思います。

「入退院を繰り返されていたので、お会いできただのも数回だけでした。亡くなられる前に、役員で有馬温泉に旅行に行つた時がお元気な姿を見た最後でしたね。同じく大電材組合に来られたばかりの松西さんと情報交換をしながらお別れの会のお手伝いをさせていただきました。」とのこと。組合に来てすぐの突然の出来事だったため、とても印象に残っているそうです。

全国大会にも出場した野球少年

趣味、嗜好をお伺いしたところお二人ともお酒が好きだとのこと。現在はお家で飲まれることが多いですが、「口ナがもう少し落ち着いたらまた飲みに行きたいそうです。

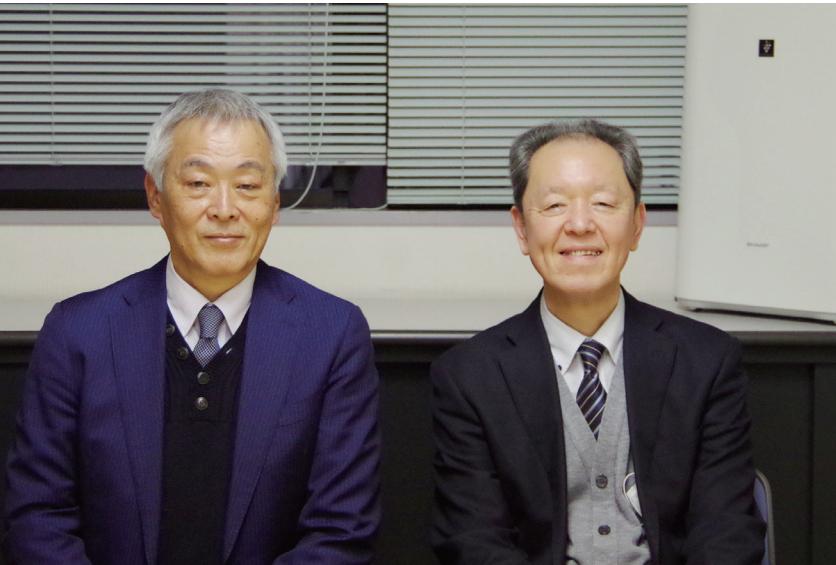
柏尾氏は、小学生の頃から野球を始め、高校生の時には軟式野球で全国大会や国体にも出場。ポジションはピッチャーで4番のキャプテンだったそうです。出身校である徳島商

業高等学校の先輩には板東英一さん、後輩には川上憲伸さんなどがいらっしゃいます。最近は、野球はされていないそうですが、自宅で筋トレやストレッチなどの運動をされているそうです。また、大電材組合の俳句会と商工中金の俳句会の2つに所属されており、「俳句を考えるのはすごく難しい。」と言わながらも、文武両道に励んでいらっしゃいます。

中家氏は、休日は本を読んだり、ウォーキングなどをしたりして過ごされているそうで、「特に何歩歩くかは決めずに自由」に歩いています。ウォーキングは気分転換にもなって結構楽しいです。」とのことです。

最後に新年の抱負をお伺いしました。柏尾氏は「個人的には海外で暮らしている6歳の孫に2年以上会えていないので、今年こそは会えたらいいなと思っています。仕事面では「口ナが落ち着いて通常通りに戻ることを願いつつ、新しく始めた事業が軌道に乗ればいいな」と思っています。」中家氏は「右に同じく、組合の新事業がうまく回つていただけるように尽力したいと思っています。」とのことです。

大阪電気器材協同組合は、これからも組合員さんの親睦の場を提供しながら、業界のさらなる発展のサポートを行ないます。



▲左から柏尾専務理事 中家主事